

小向小学校

みんなが楽しめる活動に～児童会集会

今年度は「七夕集会」「クリスマス集会」「節分集会」「進級を祝う会」の4つの集会を児童会で企画し活動を進めています。児童会役員の5年生2名は、より良い集会のイメージ



を思い描き、そのためには何をどうしたらよいかを考え行動しています。12月18日に行ったクリスマス集会では、自分たちで考案した「じゃんけんクリスマスツリー」や「新、手つなぎおに」などのレクのほか、クリスマスツリーへの飾りつけなどを行い、全校で楽しい時間を過ごしました。集会に向けた取組により、想像力と行動力が磨かれています。



5年生の姿が手本 ～クラブ活動

今年は計画を含めて5回のクラブ活動を行いました。新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校の影響で年度当初の予定からは

実施回数が半分となりましたが、子ども達は知恵を出し、協力し合いながら充実した活動を行ってきました。5年生が下の学年の児童に、サイクリングの注意事項を説明したり、凧やスライムの作り方を優しく教えたりするなど、最上級生として主体的に活動する姿に頼もしさを感じられました。最終回の反省会では、「次年度は下の学年が計画する日も作ってみたい。」という声が上がりました。今年の5年生の姿を手本に3、4年生がチャレンジしていきます。

版画カレンダー制作～「自分のお気に入り」



本校では毎年、版画カレンダーの制作を続けています。今年は全員が木版画に挑戦しました。去年まで紙版画だった3年生も、授業を通じて彫刻刀の使い方にすっかり慣

れ、細かな部分も見事に表現した作品を作り上げていました。令和3年を前に、全員が今年の作品のテーマ「自分のお気に入り」を思い思いに表現した作品を仕上げることができました。

紋別養護学校

本校では、小学部・中学部・高等部の計33名の児童生徒が学んでいます。「社会参加に向け一人一人の児童生徒が豊かに生活する力を育てる」を学校教育目標に掲げ、めざす学校像を「子どもが第一義」として教育活動を推進しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年とは異なり、感染症対策を講じながら、学習や参観日等の行事を行っています。11月には、小・中学部は学習発表会、高等部製品フェアを行いました。今回は、2学期の各学部の学習の様子について、一部ですがご紹介させていただきます。



小学部では、10月2日(金)秋の遠足で流水公園に行きました。3・4年生は「海のサロン」1・2年生は「丘のサロン」から歩きました。

友達と一緒に歩いたり、落ちていた葉っぱを拾ったり、風に揺れている木々を楽しんだりしながら歩きました。到着後は遊具遊びや広い公園内での活動を楽しみました。お昼ごはんもおいしいお弁当を食べ、思い出に残る遠足となりました。

中学部では、紋別協働型道路マネジメントとの共同事業で「砂入りペットボトル」の製作に取り組みました。地域の方と協働でペットボトルに滑り止め用の焼き砂を入れたり、ラベル貼りやポスター作りをしたりと、協力して420本の砂入りペットボトルを完成させることができました。



高等部の作業学習では、高等部「製品フェア」に向けて、紙漉きで作った和紙を用いたペーパーバックとポチ袋の製作に取り組みました。授業を重ねるごとに自分たちの力で製品を製作できるようになり、一日に製作できる製品の個数も多くなっていきました。どの製品も生徒の個性と頑張りが伝わる素晴らしい製品になりました。



本校では、児童生徒の活動の様子などをホームページ(<http://www.monyo.hokkaido-c.ed.jp/>)にて紹介していますので、ぜひ、ご覧ください。今後も、本校の教育活動に対して、一層のご理解、ご協力をお願いいたします。